

～ We live to be happy by sharing things and feelings. ～

三重県立飯野高等学校
全日制 人権だより
2021年12月6日 発行

そよかぜ No.16

期末試験が終わり、2学期もあと少しですね。風の冷たい季節がやってきました。今年の冬は、いつもより寒いそうです。暖かくして、過ごしてくださいね。今回は2学期の学習を振り返ります。

◆◇2年生 平和学習

～「悲痛な叫びが、私の想像していた何倍も、そこに書かれていた。」～

2学期は資料や映像を見たり、戦争を体験された方からお話を聞いたりしました。修学旅行先では、広島平和記念資料館の見学や原爆碑めぐり等で学習を深めました。みなさんが現地で感じ取ったことを紹介します。

人の命を無差別に奪ったのも人間だけど、その奪われた命に差別なく追悼の想いを抱けるのも、また人間だと気づいた。平和記念公園は、そんな人間のいろんな想いが入り混じった場所だと感じた。／館内はうす暗くて、外とはまた違った感じがして、あの空間に立っているだけで涙が出てきそうだった。過去の惨劇を繰り返さないためにも、学んだことを自分の後の世代に伝えていくことが大切だと感じた。／焼け焦げた自転車、ぼろぼろの衣服など、数多くの遺品から、原爆や戦争のひどさと、家族の悲しみを感じた。／平和な世の中をつくらせていくために、一人ひとりが命の尊さ、大切さを知らなければならない。／「平和な世界にするために何が大切だと思うか」と聞かれると少し迷うが、きっと争いの原因を無くすことだと私は思った。私は「核があるから平和ではない」ということではないと思う。／もうこんなことが起きないようにどうしたらいいのか考えないといけない。歩きながら、足元にたくさんの人の骨があるのかと思うと、悲しくなった。早く平和になってほしい。



実際に原子爆弾が落とされた場所に行き、話を聴いて、考えて、感じ取ってきたみなさん。一人ひとりが、大切な学びを持ち帰ったことと思います。修学旅行は終わりましたが、学びは終わりません。これからも平和について、命の大切さについて、学び、考え、向き合ってほしいと思います。終わらせないでほしいです。

～ We live to be happy by sharing things and feelings. ～

「わたしたちは、しあわせになるためにいきている。ものやきもちをわかちあって・・・。」

飯野高校はシトラスリボンプロジェクトに賛同しています。



Citrus Ribbon
PROJECT

裏へ



◆◇3年生 人権講演会 ～労働者の権利～

～「ルールは守られていて当たり前。そう思っていたのに…。」～

弁護士の先生から、労働者の権利についてお話を聴きました。Q & Aに答えながら、わかりやすくワークルールを学ぶことができました。アルバイト経験のある子でも知らなかったことがあり、これまでのことを振り返ったり、働く人の権利についてきちんと学んだりしておこうと思ったみなさんが多かったです。

知っておくことは大事。特に、高校生や外国人にとってすごく大事だと思う。たとえば、社長が言ったら何でも正しいと思う。正しくないと思っても、仕方がないと思ってしまう。自分の権利がわかっていないから。いろいろなことを学んで、親や友達にも伝えたい。／以前、知り合いがアルバイトをしていたとき、どのようなことが違法なのかを知っていれば、その子をその環境から救えたのではないかと思った。今回の講師さんのように、労働者の権利を守るために働いてくれる人がいることにありがたいと感じた。／以前のアルバイト先では、有給はなく、休むときは代わりの人を探さないといけなかった。それが違法だと知って驚いた。他にも、あれはどうなんだろうと考えるところがあった。今日教えてもらったことを活かして、自分でよく考えて行動していきたい。



◆◇1年生 人権学習「飯野リトルワールド」 ～多文化共生～

～「私たちは一人じゃない。社会でも助け合っていきたい。」～

「多文化共生」をテーマに「飯野リトルワールド」という学習活動をしました。4年前から飯野高校で取り組んでいる共生学習です。様々な国から、様々な興味・関心をもった子たちが集まる飯野高校。日常生活が「多文化共生」と言える飯野高校ですが、「共に学ぶ仲間、共に生きる仲間」として、改めて知り合う機会となりました。差別や偏見は、学ぶことや知り合うことで、少しずつ減っていくと思います。多様な価値観や人との出会いは、みなさんにとって、今後の人生の財産となるでしょう。



応デの子たちが新しい言葉を学ぶために私のところまで聞きに来てくれて、うれしかったです。／言葉が違ってもみんな同じであることを学びました。言葉がわからなくても、お互いを尊重し合うことが大事だと思いました。／この学校には、いろんな国の人や性格の人がいるのだと改めて実感した。国や文化をこえて協力し合えるのは、飯野高校の良さなんじゃないかなと思った。卒業して社会に出たら、きっと今以上に色々な国の人に出会おうと思う。もし身近にいたら交流を深めて仲良くなりたいし、色々な国の文化を理解していきたい。／自分一人で調べるのもいいけど、せっかくこんなにもいろいろな国の言葉を話せる人がいるので、教えてもらうのも良いと感じました。／応デの子達がサクッと絵を描いていたのを見て、さすがだなと思った。前回より会話ができて、コミュニケーションの大切さも感じられた。